

# 北欧デザインの名作カタログ

巨匠デザイナーの  
名作家具図鑑

なぜ世界の美食家は  
北欧を目指す？

マリメッコ × ティニー  
コラボシール付き！

北欧の  
美しい建築  
トラベルガイド  
付き！

BRUTUS  
*Casa*

MAGAZINE HOUSE MOOK extra issue  
カーサ ブルータス特別編集

【完全保存版】



LIVING with  
NORDIC DESIGN

## 北欧デザインの名作と暮らす

フィンランド・デンマーク・スウェーデン・ノルウェー



©photo\_Jarle Wæhler

## エッグム

**Eggum (2007)**  
by Snøhetta

〈オスロ新国立オペラ・ハウス〉やエジプトの〈新アレクサンドリア図書館〉などを手がけたノルウェー随一の気鋭建築家集団スノヘッタが設計を担当。国内で最も美しいと言われるロフォーテン諸島に位置する。漁村の点在する島々と山、フィヨルドを望むこの一帯は、冬はオーロラ、夏は白夜の太陽と四季の移り変わりを体感できることから観光客に人気が高い。〈エッグム〉は休憩所および駐車場の機能を備えた施設で、特に5月下旬〜7月中旬の真夜中の太陽の観測においては、ベスト

スポットと定評がある。岩山に囲まれた現代的な建築の木造部分には、ロフォーテンの海岸から集めた流木を使用するなど、自然と調和するサステイナブルな一面もうかがえる。

●Route14:Lofoten。トロンソから車で約3時間、諸島の入口から国道E10を走り、半島さながらに連なる島々を縫って230km。カラフルな家が立ち並ぶ漁村やフィヨルドが創りだした自然を満喫しつつ、〈エッグム〉を含む11か所のプロジェクト施設を巡りたい。フェリーや公共交通機関のアクセスが良いので、旅のプランは自由自在。

## ユーヴェ・ランドスケープホテル

**Juvet Landscape Hotel (2008)**  
by Jensen & Skodvin Architects

ヴァルダルの山間に建てられた宿泊施設。キューブを組み合わせたようなデザインは、若手建築家イェンセン&スクードヴィンによる。通称ランドスケープホテルと言われ、各部屋からは林や川、渓谷、雪山などそれぞれに異なる眺望が楽しめる。あらかじめ室内の照明は暗めに設定され、自然と一体化する静寂のひとつを堪能できるほ

か、溪流での水浴体験も。オーレスン空港から2時間のルート12は全106km。その他の周辺施設も充実している。

●Route12:Geiranger-Trollstigen。宿泊期間は3月〜9月。ランドスケープルーム(ダブル)、バードネスティングルーム(シングル)などがある。1泊朝食付き1人1,450NOK〜。夕食500NOK〜。冬期は道路閉鎖地区があるので事前に要問合せ。



©photo\_Mis Våg

## ステーガスタイン

**Stegastein (2006)**  
by Todd Saunders, Tommie Wilhelmsen

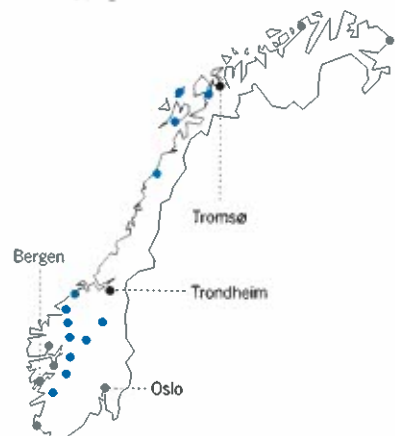
道路から30mもせり出した空中橋をガラス板一枚で仕切られた先端まで進めば、650m下にフィヨルドの絶景が！この想像を絶する高台に建てられた展望台からは、世界遺産にも登録されたナローフィヨルドを含めたパノラマを一望できる。ツーリスト・ルートの賞を受賞した当作品、北欧的なミニマルデザインらしく景観重視で、余計な

装飾を深く削ぎ落とし、驚きと感動を与えてくれる。ノルウェー人建築家による必見の建築物です。

●Route7:Aurlandsfjellet。アウルランドとベルゲンを結ぶE16沿いに位置。〈ステーガスタイン〉までの道は年中開通しているので安心だ。オスロからベルゲンへ向かう途中の山岳鉄道フロム鉄道に乗車してフィヨルドを満喫するのもオススメ。



©photo\_Per Eide



詳細はツーリスト・ルートをチェック!  
<http://www.nasjonale turistveger.no/en>

こんな作品も見逃せません。



©photo\_Drephotodesigner

### トロールスティグプラトー

Trollstigplatået  
by Reiulf Ramstad Arkitekter  
Route12: Geiranger-Trollstigen



©photo\_Roger Ellingsen

### グッドブランドユーヴェ

Gudbrandsjuvet  
by Jensen & Skodvin Architects  
Route12:Geiranger-Trollstigen



©photo\_Reiulf Ramstad Arkitekter

### セルヴィカ

Selvika  
by Reiulf Ramstad Arkitekter  
Route17:Havøysund



# 建築探訪という目的とともに 森の国のロードトリップへ!

フィヨルド、山、森と雄大さにおいて圧巻の自然を誇るノルウェー。国家的プロジェクト〈ナショナル・ツーリスト・ルート〉を行けば、ダイナミックな自然と調和する建築作品との遭遇が待っています。

text\_Rico Iriyama editor\_Ai Sakamoto



長いサーフボードを彷彿とさせる印象的な建築。木やガラス、帆布などから成る。

## スタイルネセ記念館

Steilneset Memorial (2011)  
by Peter Zumthor

17世紀半ば、ノルウェー北端の街ヴァルドーで行われた大規模な魔女狩り。その犠牲となった91人の女性や子供を追悼するための記念館である。当時の処刑場付近に建てられた2つの建物で構成。海沿いに行む直線的な建築はビーター・ズントー、隣接する〈炎の家〉は女性コンテンポラリーアーティストのルイズ・ブルジョワが手がけた。長さ125mにも及ぶ細長い廊下のような空間には、犠牲者91人分のガラス窓が設けられ、それぞれの資料を展示。一方、〈炎の家〉では7枚の丸い鏡に囲まれた、炎に燃える椅子のインスタレーションが空間に重みを与えている。季節によって大きく表情を変える北緯70度のこの一帯では、冬期にはオーロラ観測もできる。

●Route18:Varanger. 終日開館。無休。入館無料。グループでのガイドツアーは事前に相談可(有料)。ヴァルドー空港から車で5分。オスロからシルケネス空港、アルタ空港、トロムソ空港などへ飛び、車で周辺を回る旅もおススメ。一部道路が閉鎖される時期もあるので要注意。Havøysundルートを合わせてプランを組みたい。



左/1つの窓に1つランプが灯されている。右/常に炎が消えないインスタレーション。

エラツシュが続くノルウェー。自然環境との調和を機能性に取り込んだ北欧建築の中でも、ノルウェーのそれは群を抜いて高レベルとされる。中でも今注目すべきは、自然との一体化をテーマにした〈ナショナル・ツーリスト・ルート〉。国土庁が中心となって10年前にスタートしたプロジェクトで、国内18のルートに建物、休憩所、展望台といったスポットを設置するというものだ。ルートの中にはわずか27kmのものもあれば、寄り道しつつ3日かけて巡る沿岸道などバリエーションも豊富だ。プロジェクトは現在も進行中で、若手建築家に門戸を開きつつ、スノヘッタやビーター・ズントーなど世界的な有名どころも採用。現代建築というフィルターを通して大自然を望めば、そこには静かな調和と鮮やかなコントラストを見出せる。目的地に着くまでの過程を含めたトータルな建築体験は、デザインとライフスタイルとアクティビティが常に隣り合わせにある北欧的な試みと言える。